

連携アプリケーション再セットアップ手順書

第 3.14 版

2026 年 10 月 1 日

変更履歴

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
1	1.00	初版作成	初版作成	-		2020/11/16
2	1.01	アンインストールをやめ、上書きインストールへと変更	アンインストールの章を削除 上書きインストールを追加	- 1. 初めに、2. 再セットアップ手順概要、5 上書きインストール後の再設定手順についてアンインストールを上書きインストールに文言を修正 - 4. アンインストールを削除、5. アンインストール後の設定を削除	変更	2020/12/21
3	1.02	上書きインストール時についての注意事項を追加	上書きインストール時についての注意事項を追加	-	追加	2021/3/8
4	1.03	インストーラーのJava 同梱対応	Java 同梱したため不要となった手順を削除	- ⑤Java のコピー	削除	2022/2/28
5	1.04	電子処方箋管理サービス追加に伴う追加	電子処方箋管理サービスの記載を追加	- 1. はじめに - 4. 上書きインストール※注意	追加	2022/8/31
6	1.05	上書きインストール時の手順改善	連携アプリケーションのタスク操作後に資格確認端末を再起動する手順を追加	- 3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化	追加	2022/9/5
7	1.06	インストーラー改善対応	インストール時の実行ファイルを変更	- 4. 上書きインストール※注意	変更	2023/1/18

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
8	1.07	電子処方箋管理サービス利用開始に伴う修正	「電子処方箋管理サービスの利用開始時期について」の文言を削除	- 表紙	削除	2023/2/28
9	3.00	インストーラー改善対応	インストール時の実行ファイルを変更	- 4. 上書きインストール※注意	変更	2023/8/30
10	3.01	記載内容の改善	・アンインストール再インストールの手順に項番を付与 ・タスクの無効有効化についてタスク名を明記	- 3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化 - 5. アンインストール再インストール - 6. 再セットアップ後の再設定手順について	変更	2023/9/28
11	3.10	記載内容の改善	・上書きインストールを事前準備に移動 ・アンインストール再インストール手順に画像イメージを追加 ・再インストール後に共有フォルダの設定手順を追加	- 3. 事前準備 - 4. アンインストール再インストール - 5. 事後処理	変更	2023/11/15
12	3.11	電子カルテ情報共有サービス追加に伴う追加	電子カルテ情報共有サービスの記載を追加	- 1. はじめに	変更	2024/10/7
13	3.12	表記ゆれの修正	表記ゆれがある文言を修正	- 全体	変更	2025/12/2
14	3.13	Windows11 対応	画面イメージをWindows11 の画面に変更	- 全体	変更	2026/2/10

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
15	3.14	社会保険診療報酬支払基金から医療情報基盤・診療報酬審査支払機構への名称変更	コントロールパネル画面イメージを変更	- 4. アンインストール再インストール	変更	2026/10/1

目次

- 1. はじめに..... 1
 - 1.1 本書の目的 1
 - 1.2 本書の構成 1
 - 1.3 本書の対象 2
 - 1.4 導入時の前提条件 3
- 2. 再セットアップ手順概要 4
- 3. 事前準備 5
 - 3.1 連携アプリケーションの定期起動の無効化 5
 - 3.2 上書きインストール 8
- 4. アンインストール再インストール 10
- 5. 事後処理 13
 - 5.1 再セットアップ後の再設定手順について 13

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、医療機関・薬局等の HIS 等（レセコン含む）既存システム（以下、「既存システム」とする）とオンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス及び電子カルテ情報共有サービスが、ファイル連携するために使用する連携アプリケーションの再セットアップ手順を示す。

※本マニュアルは、Windows11 で作成しております。

1.2 本書の構成

本書の構成を「表 1-1 本書の構成」に示す。

表 1-1 本書の構成

項番	資料名	概要
1	連携アプリケーション再セットアップ手順書 （本書）	オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス及び電子カルテ情報共有サービスとファイル連携するために必要な、連携アプリケーションの再セットアップ手順を記載した資料

1.3 本書の対象

既存システムとオンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス及び電子カルテ情報共有サービス間の連携には「①連携アプリケーション」、「②Webアプリケーション連携」、「③顔認証連携」及び「④WebAPI連携」の4つの方式がある。本書は①の連携アプリケーションを対象とする。

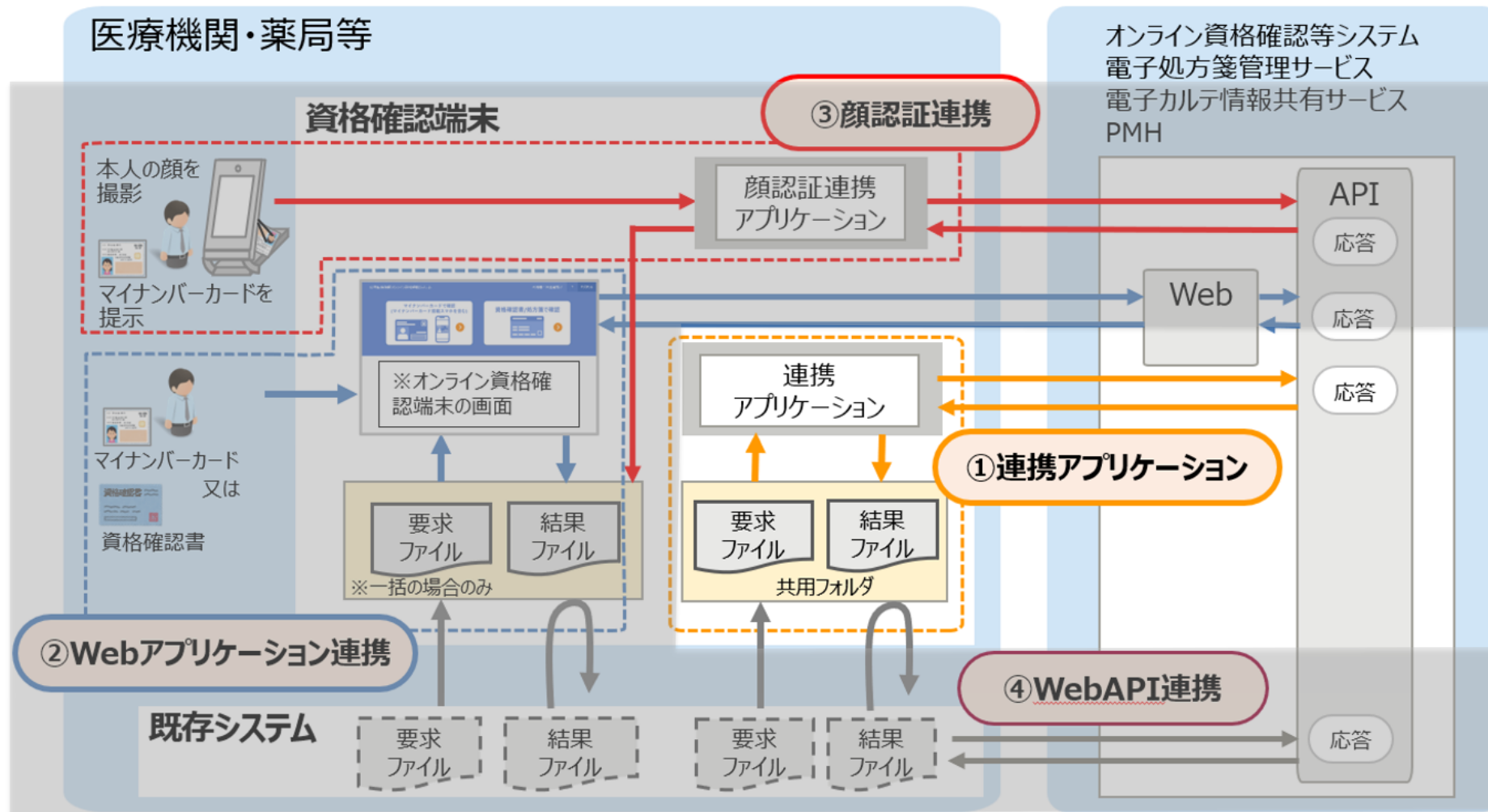


図 1-1 既存システムとオンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス、電子カルテ情報共有サービス間の処理概念図

1.4 導入時の前提条件

- 連携アプリケーションの再セットアップ設定について、「OqsComApp」ユーザーで操作すること。
- 連携アプリケーションを導入済みであること。

2. 再セットアップ手順概要

再セットアップ手順の概要を以下に示す

作業ステップ	作業項目	ツール：作業内容
事前準備	タスクの無効化	・ スタートメニュー：コンピュータの管理：タスクスケジューラ ・ インストーラ
	上書きインストール	
アンインストール再インストール	アンインストール 再インストール	・ インストーラ ・ スタートメニュー：アプリと機能
事後処理	タスクの有効化	・ スタートメニュー：コンピュータの管理：タスクスケジューラ

3. 事前準備

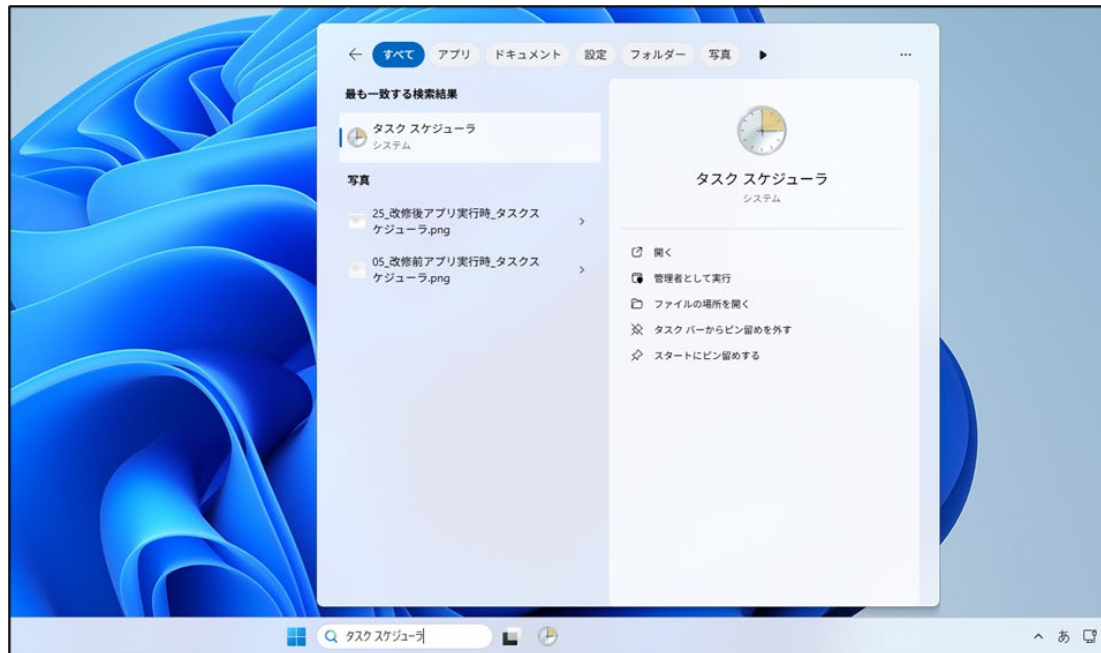
3.1 連携アプリケーションの定期起動の無効化

「連携アプリケーション」は、Windows の機能である「タスクスケジューラ」の機能を使用して、定期的に連携ファイルの処理を実行する。
再セットアップ時には以下の手順にて定期起動の無効化を行う。

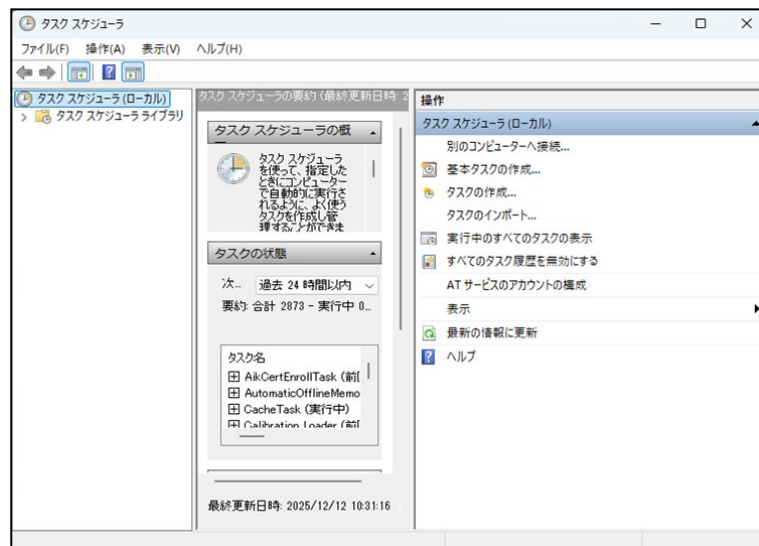
「定期実行の無効化」

タスクスケジューラを起動

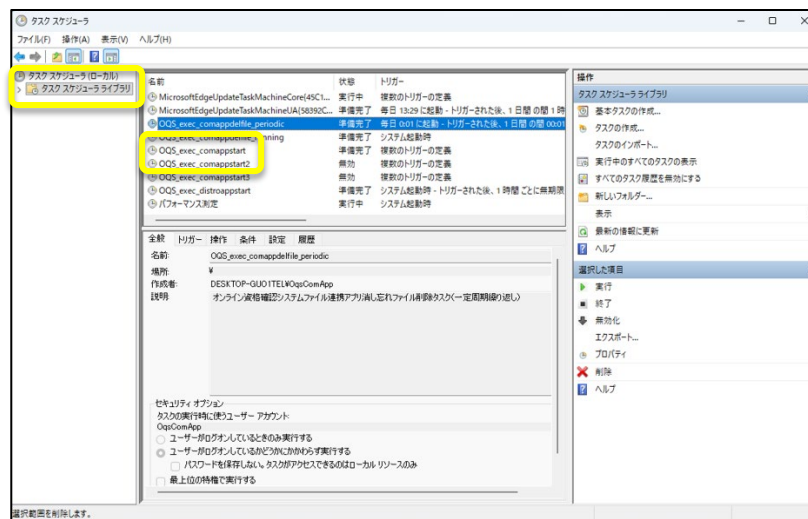
- ① ステータスバーの検索ボックスに「タスク▲スケジューラ」と入力し、タスクスケジューラを起動する。 ▲半角又は全角スペースを入力してください。



② 【タスクスケジューラ】が起動する。



③ 左の領域で【タスクスケジューラライブラリ】を選択し、導入手順で追加した【OQS_exec_comappstart】タスクをクリックする。



- ④ 右の領域で無効化をクリックする。

同様に、下記の 2 つのタスクについても、無効化を行う

- OQS_exec_comappdelfile_periodic
- OQS_exec_comappdelfile_running

- ⑤ 資格確認端末を再起動する。

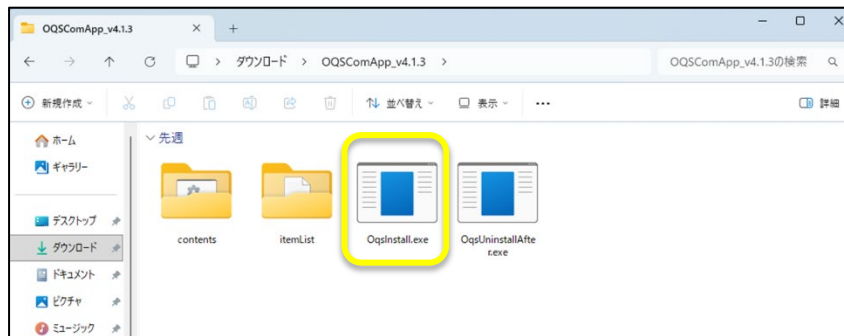
3.2 上書きインストール

「連携アプリケーション」のバージョンアップを伴う再セットアップをしたい場合、上書きインストールで再セットアップが可能である。

上書きインストールで再セットアップを行う場合は、下記手順を実施する。上書きインストール実施後、「5.事後処理」に移行する。

※「連携アプリケーション」の動作不良等で上書きインストールを実施したが事象改善されない場合は、次項のアンインストール再インストールを実施すること。

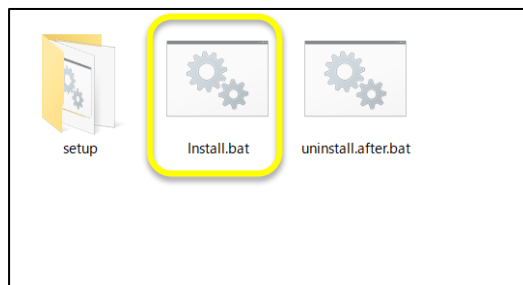
- ① 連携アプリケーションの最新バージョンのインストーラーを、医療機関等ベンダーより入手
- ② 提供物から OQSComApp.zip を取り出し、任意の場所に解凍する。
OQSComApp フォルダ内の OqsInstall.exe をダブルクリックする。



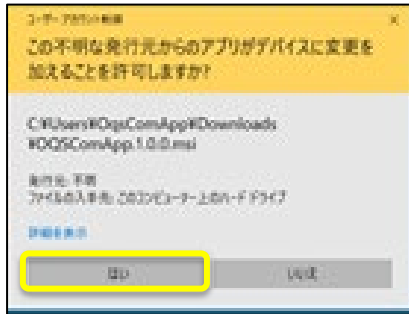
※OqsInstall.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※注意

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は install.bat をダブルクリックする。



- ③ ユーザーアカウント制御のダイアログに対して「はい」ボタンをクリックする。



- ④ インストールが完了すると画面が自動的に閉じる。
- ⑤ インストール後、以下のバージョン定義ファイルが存在し、メモ等で開くとバージョンが最新になっていることを確認する。

【バージョン定義ファイル】

C:\¥Program Files¥OQS¥OQSComApp¥Version.info

上書きインストール実施後、「5.事後処理」に移行する。

4. アンインストール再インストール

「連携アプリケーション」のアンインストールは、Windows の機能である「プログラムと機能」の機能を使用して、アンインストールを行う。

アンインストール後、「連携アプリケーション」のインストーラーから再インストールを行う。

※「連携アプリケーション」の動作不良等で上書きインストールを実施したが事象改善されない場合、アンインストール再インストールで事象改善されることを確認する。

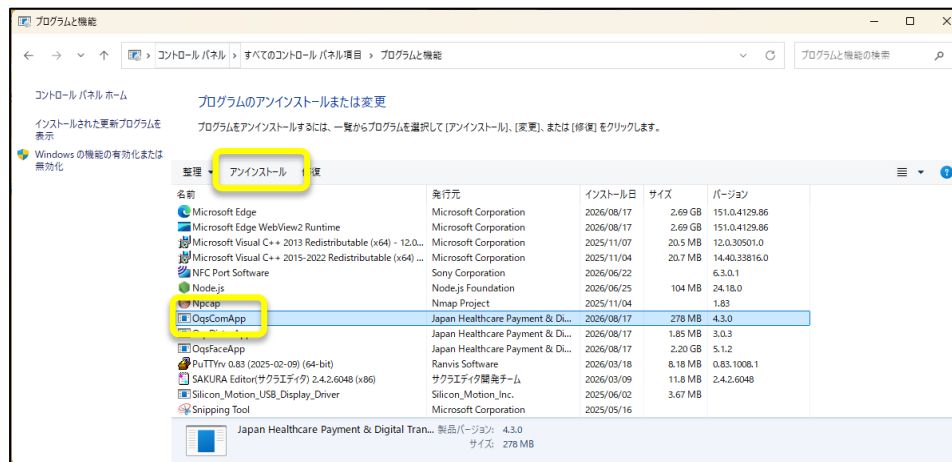
① 下記ファイルを任意の場所に退避する。

- ・暗号化識別ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥encrypt.conf)
- ・ユーザー定義ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥UserDefinition.property)
- ・システム定義ファイル (C:¥ Program Files¥OQS¥OQSComApp¥conf¥SystemDefinition.property)

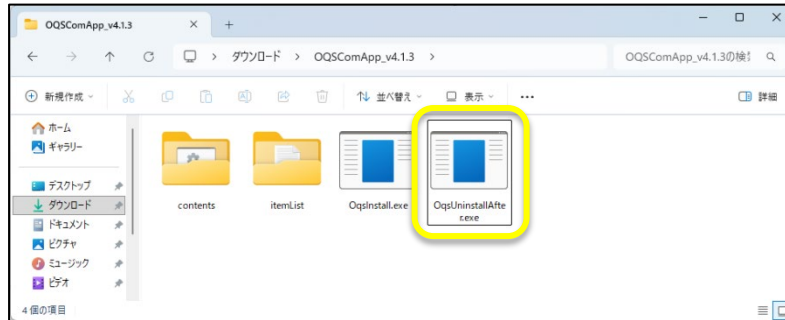
※「req」フォルダー「res」フォルダー等の上記以外で個別設定を行っている場合、個別設定の内容を確認し、場合によって退避する。

(当初セットアップ時の手順をご確認ください)

② コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」から「OqsComApp」を選択し、アンインストールする。



- ③ インストーラー（OQSComApp.zip）に内包されている、OqsUninstallAfter.exe を実行する。

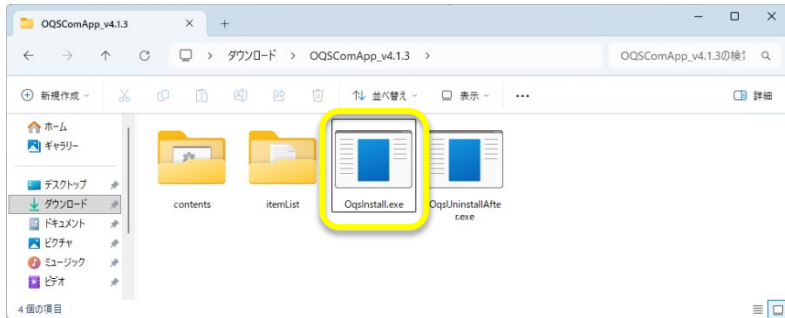


※OqsUninstallAfter.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は Uninstall_after.bat を提供している。

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合はインストーラー（OQSComApp.zip）に内包されている、Uninstall_after.bat を管理者権限で実行する。

- ④ インストーラー（OQSComApp.zip）に内包されている、OqsInstall.exe を実行する。



※OqsInstall.exe は、バージョン 2.2.0 以降から提供。

※2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合は install.bat を提供している。

2.1.0 以降～2.2.0 より前のバージョンの場合はインストーラー（OQSComApp.zip）に内包されている、install.bat を管理者権限で実行する。

⑤ ①で退避したファイルを参考に下記ファイルの設定を戻す。

- ・暗号化識別ファイル（C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥encrypt.conf）
- ・ユーザー定義ファイル（C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥UserDefinition.property）
- ・システム定義ファイル（C:¥ Program Files¥OQS¥OQSComApp¥conf¥SystemDefinition.property）

※ファイルの上書きコピーを行う際は、ファイルの破損等を確認し、問題無いことを確認してから行うこと。

※再インストールによって定義ファイルが初期化されています。

項目値を独自に設定されていた場合は、新しい定義ファイルに古い定義ファイルの内容を反映してください。

また、連携アプリケーションのバージョンアップによって追加項目がある場合は、追加項目についても設定値の見直しをしてください。

⑥ 共有フォルダーの設定を行う。

参考：医療機関向けセットアップ手順書（資格確認端末編）

5 連携アプリケーションをインストールする

<02 共有フォルダーの設定>

※「req」フォルダー「res」フォルダー等で個別設定を行っている場合、個別設定も初期化されているため再設定を行う。

再セットアップ後の動作確認において、HIS 等の既存システムとの連携でエラーが発生した場合、上記設定の漏れがないかご確認ください。

※上記以外の個別設定を行っている場合、個別設定が初期化されていないか確認する。

⑦ オンライン資格確認等システムの接続先が接続検証環境であった場合、環境を接続検証環境に戻す手順を実施（資格確認端末環境切替え手順書を参照）

5. 事後処理

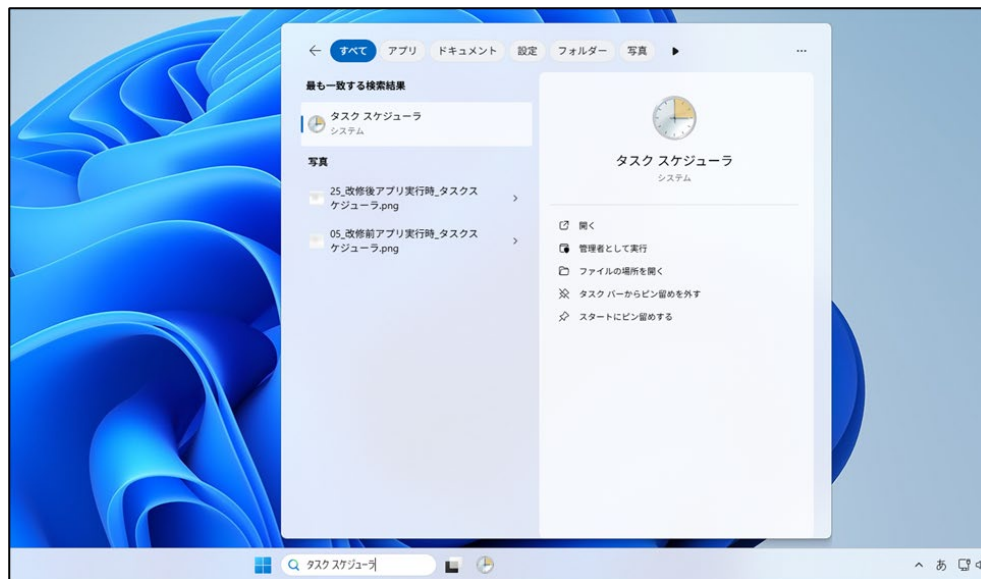
5.1 再セットアップ後の再設定手順について

再セットアップ後には、以下の手順と別紙「連携アプリケーション導入手順書」の6. 導入後の動作確認手順を実施すること。
連携アプリケーションの定期起動の設定（タスクの有効化）を行う。

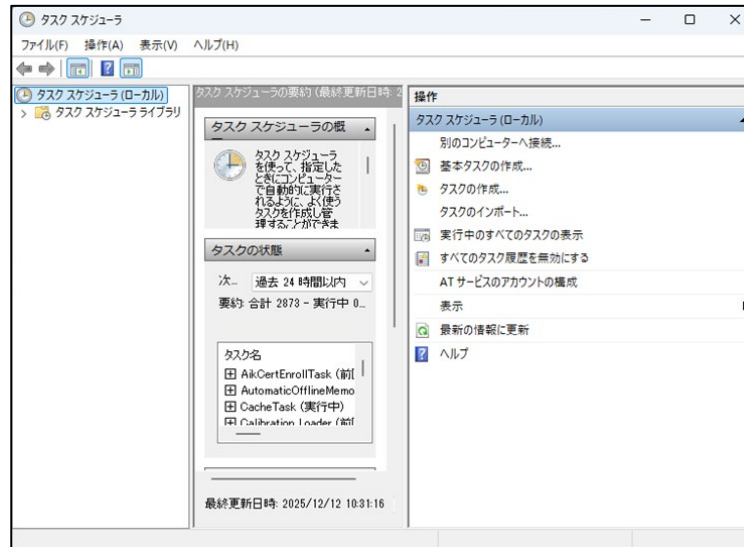
〔定期実行の有効化〕

タスクスケジューラを起動

- ① ステータスバーの検索ボックスに“タスク▲スケジューラ”と入力し、タスクスケジューラを起動する。 ▲半角又は全角スペースを入力してください。



② 【タスクスケジューラ】が起動する



- ③ 左の領域で【タスクスケジューラライブラリ】を選択し、導入手順で追加した【OQS_exec_comappstart】タスクをクリックし、右の領域で有効化をクリックする。

同様に、下記の 2 つのタスクについても、有効化を行う。

- OQS_exec_comappdelfile_periodic
- OQS_exec_comappdelfile_running